

---

---

## 被災地から、全国のクラブの支援に感謝を込めて

～第42回全国老人クラブ大会が開催されました～

---

---

去る10月1日から2日間にわたり、東日本大震災で宮城県、仙台市、福島県と並んで大きな被害を蒙った岩手県において、第42回目となる全国老人クラブ大会が開催されました。全国の老人クラブ関係者から被災地へ寄せられ、復興の支えとなった物心両面の支援に対する感謝を込めた本大会には、全国各地から1,524名が参加しました（本県12名）。



初日は、各テーマ毎に分かれての活動交流部会で、健康づくり・介護予防活動の推進の他、クラブの活性化や住みよいまちづくりへの取り組みなど5部会において、事例発表やパネルディスカッションなどにより、テーマに基づく研究討議が行われました。第5部会では、東日本大震災から復興に向けた被災地の老人クラブの取り組みが紹介され、平成24年から徐々に活動を再開し、元気を取り戻している石巻市や福島県広野町の取り組み、大きな被害を受けた陸前高田市の各種活動の復活に向けた取り組みなどが発表され、総じて老人クラブがまだまだ必要とされ、地域には無くてはならない存在であることを確認させられるものでした。

2日目は、盛岡市内にある岩手県民会館を会場に行われた式典で、表彰では老人クラブの育成に功績のあった者や団体に対し、全国老人クラブ連合会会長から賞状と記念品が贈られました。

なお、本県の受賞者は下記のとおり。

（老人クラブ育成功労表彰） 伊丹 一夫（三好市）

明本 恭子（上勝町）

（優良老人クラブ表彰） 木屋平高齢者クラブ（美馬市）

（優良老人クラブ連合会表彰） 徳島市老人クラブ連合会（徳島市）

大会宣言では、復興の途上にあるなか、「老人クラブの灯を消すな！」を合言葉に立ちあがる被災地へエールを贈りつつ、次の四つの事項の実践を誓い、満場一致で可決しました。

- 一、老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実

- 一. 日常生活を支援する「地域支え合い活動（友愛）」の推進
- 一. 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

最後に、被災地・被災者の復興を応援するために制作されたチャリティーソング「花は咲く」を参加者全員で合唱し、全日程を終了しました。

